

業界

ひろいよみ

経営統合に向け、持株会社を設立

JA全農

JA全農は地域別飼料会社の経営統合を目的に持株会社の設立を経営管理委員会で決定した。

対象となるのは飼料製造・販売子会社であるJA全農北日本くみあい飼料(株)、JA東日本くみあい飼料(株)、JA西日本くみあい飼料(株)、ジェイエイ北九州くみあい飼料(株)の4社で、持株会社の完全子会社となる。

まず10月に共同株式移転によって4社を完全子会社とする持株会社、

JA全農くみあい飼料ホールディングス(株)(仮称)を新設して事業機能・諸制度の統合作業を進め、3年以内に持株会社を含めた5社の合併を目指すとしている。

この経営統合によって事業運営の効率化や製造技術・営業ノウハウの高度化、畜産専門人材の採用・育成などへ取り組み、地域ごとに強化してきた飼料会社の機能を統合・高度化し、より生産者の事業を支援する

ことを図っている。

【持株会社の概要】

社名・JA全農くみあい飼料ホールディングス株式会社(仮称)

所在地・東京都千代田区大手町1-3-1(JAビル)
設立予定日・令和4年10月3日
資本金・100百万円

肥育1000頭突破で協会へ移行

石垣牛流通協議会

石垣牛流通協議会は5月20日、東京都江東区の食肉流通会社、(株)ニイチクの大会議室において、2022年度石垣牛流通協議会の第1回目総会を開催した。同協議会の相談役となっている石垣市の中山義隆市長も来賓に招かれ、総勢40名が出席した。

議題は2021年度事業報告、2022年度事業計画、役員改選(前期と同じ)などであり、異議なく承認。また総会終了後は、経済評論家で会社経営者の上念司氏が「石垣牛と地域経済」と題する特別記念講演を行っている。

開会に当たって同協議会の植村光一郎会長は同協議会の将来展望と協会の行動、役員を選定理由について述べた。「通常、売り手と買い手は

買い手が強いが、あくまで平等な立場で互いに信頼しあいながら続けていきたいと思っている。ただ頭数が1000頭が増えてきたら行政の方も間に入っていたくのを目標として、その時は協議会から協会にしていきたい。おいしさについて消費者に伝えることに注力していき、その理由を説いていく。また生産者のこだわりを伝え、さらに消費者がフードチェーンの中に参加していることを認識してブランドの価値を高めたい」などと挨拶した。

続いて挨拶に立った中山石垣市長は「年間を通じて提供できる畜産物は島外に出荷できるだけの生産量になってほしいと願っていた。海外に出荷できる体制も整えたが、まずは

「北美津久」を新たに選抜

一般社団法人ジェネティクス北海道

子牛管理のセミナーを開催

エランコジャパン株式会社

国内向け流通を整え皆様方に生産していただくことを嬉しく思う。しっかりパックアップしていきたい」などと述べた。

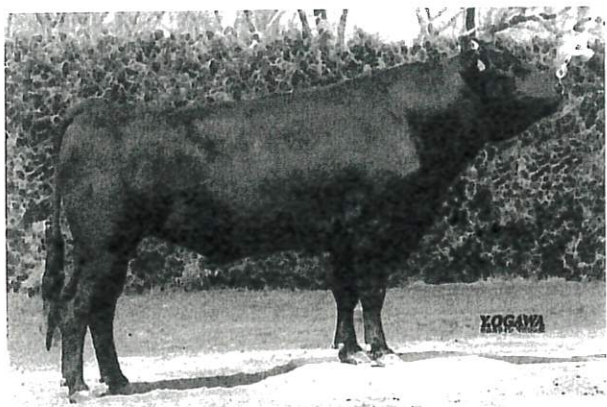
次にJA石垣牛肥育部会会長の仲大盛吉幸氏も会場にかけつけ、「なかなか頭数が増えないのが悩みの種。流通協議会の発足で首都圏への売り込み体制もでき、我々もそれに応えられるように増頭したい。地元の餌も最大限利用しながら、石垣島の年間出荷頭数の1割にも満たない現状を1000頭にするよう取り組んでいく」と挨拶した。

日程終了後に消費者、関係者交流会も行われ、石垣牛のすき焼きや焼肉、ハマチなど刺身も供され、招かれたネットのインフルエンサーの方々が舌鼓を打っていた。

なお現在、石垣牛流通協議会には27社41店舗が加盟している。



挨拶をする中山市長



H黒-313号「北美津久」

(一社) ジェネティクス北海道はH黒-313号「北美津久」(「美津照重」×「安福久」×「平茂勝」)の繁養種雄牛への選抜を発表した。「北美津久」は優れた母牛「てつせん」産子で、能力の高さが道内外で評判になっている種雄牛。実際、現場後代検定では枝肉重量537・

4kg、ロース芯面積75・2、バラの厚さ8・5cm、BMS No.10・6と見事な成績を収めている。平成30年度Ⅱ期の現場後代検定実施種雄牛であり、従来の選抜時期より1、2カ月早く決定された。同団によると、当初は現場後代検定成績および北海道育種価を確認した上で選抜を検討する予定だったが、北海道和牛振興協議会より母集団の整備、改良を目的とした早期選抜、早期利用の検討依頼を受け、選抜を決定したという。

なお、ストローは7月1日より1本6000円(税抜)で販売する予定。

【種雄牛データ】

▽H黒-313号「北美津久」(「美津照重」×「安福久」×「平茂勝」)
平成29年5月8日生まれ。黒15433・83・4点。生産者・千葉典弘さん。

エランコジャパン(株)は6月1日から7月31日までWebセミナー「ヘッドスタート・ヘッドチョイス Webinar」を開催している。テーマを「生まれた直後の子牛の管理―暑さ・寒さと初乳の関係―」とし、講師はDr. Mike Nagorske氏が務める。ヒートストレス下における母牛・子牛への影響と、初乳との関係性について解説している。

閲覧には以下のURLまたはQRコードよりエランコジャパンのWebシステムに登録する必要があります。

<https://forms.office.com/r/4K0Bvv95>

